

平戸で活躍する若人 No.3



今月の若人



やまだ 山田 英博さん(30歳)
大石脇町

戸石川町の見晴らしのいい高台にある「小規模特別養護老人ホームあんのん」で働く山田英博さん。

山田さんは、猶興館高校を卒業後、福岡大学商学部に進学。卒業後は、地域経済を活性化していきたいと思い、地元の銀行に就職しました。その後、転勤で佐賀や福岡と配属となり地元を離れて働く中で、いつか平戸に帰って地元で暮らしていきたいと思い、30歳になる時に、地元の求人での職場を見つけ、平成27年5月に就職しました。

「あんのんは、安心、安全、おだやかな生活がめぐる施設として、高齢者を受け入れています。また、介護の現場は重労働というイメージがありますが、あんのんでは、最新の設備を取り入れて、介護職員の業務負担を減らしています。これからの仕事する職員が、少しでも安心して快適に働けるような職場環境を「あんのん」が考えています。そして自分たちみたいな若者が、地元でも働きたい職場にしていきたいという思いが、この職場に込められていると思います。」

平成27年度ふるさと納税寄附金額

46,736件 2,599,785,142円

(寄附金額・全国第7位※ふるさとチョイスより参照)

平成27年度は、
ふるさと納税の財源を使って

977,396,385円

を市の事業に活用しました。

平戸市の今
平成26年度、ふるさと納税の寄附金額で日本一になった平戸市。日本一になった事で、たくさんのメディアなどにも取り上げられ、平戸の知名度は格段に向上しました。また、平成27年度も税制改正やワンストップ特例制度などの影響により、全国から約26億円の寄附金が寄せられました。これらの寄附金は、市で設定している「やらんば燦燦プロジェクト」に活用され、平成27年度は約9億7千万円を活用しました。市税に近い収入があったことで、これまで支援することができなかった事業にも活用でき、少しずつまちは活性化しています。

行政に依存しない事業展開や新たな特産品の開発、また市外から移住し平戸の魅力を発信しようとする人や、将来の子どものために今の平戸の現状を変えていこうと真剣に考える人たちが増えています。このように、まちの人たちの意識も少しずつ変化してきています。
今回は、寄附金の活用の中で最も力をいれている「ずっと住みたいまち創出プロジェクト」において、起業や新たな事業展開などに取り組んでいる人たち取材しました。そこから見える、まちの人たちの思いを紹介します。

まちの活性化だけでなく

やらんば燦燦(さんさん)プロジェクト

ふるさと納税は、日本で唯一税金の使い道を指定できる制度です。寄附者から平戸市へ寄附されたふるさと納税は「やらんば!平戸」応援基金に積立てられ、平戸市総合計画で設定している「輝く人づくりプロジェクト」・「宝を磨き活かすプロジェクト」・「ずっと住みたいまち創出プロジェクト」の3つのプロジェクトに活用されます。寄附者が、応援したい!と思うプロジェクトに寄附したお金が活用されています。

ずっと住みたいまち創出プロジェクト活用事業

- 企業立地等の推進
- 消防・救急救命体制の充実・強化
- 地域ぐるみの子育て支援など



平戸式もうかる農業実現支援事業



空き店舗等活用促進事業



中小企業振興対策事業



消防防災施設整備事業



創業支援対策事業



福祉医療給付事業

事業名	活用金額
中小企業振興対策事業	37,731,172円
消防防災施設整備事業	18,003,977円
平戸式もうかる農業実現支援事業	17,752,000円
移住定住環境整備事業	17,566,929円
創業支援対策事業	12,601,516円
路線バス維持対策事業	12,251,088円
福祉医療給付事業	7,237,876円
空き店舗等活用促進事業	7,045,000円
イカ類流通システム実証試験調査事業	4,800,000円
予防接種事業	3,191,760円
度島ふれあいモデル事業	3,024,000円
安心出産支援事業	2,149,960円
6次産業化推進事業	800,000円
子育て支援事業	773,700円
幼児健康診査事業	734,870円
児童福祉総務事務経費	673,920円

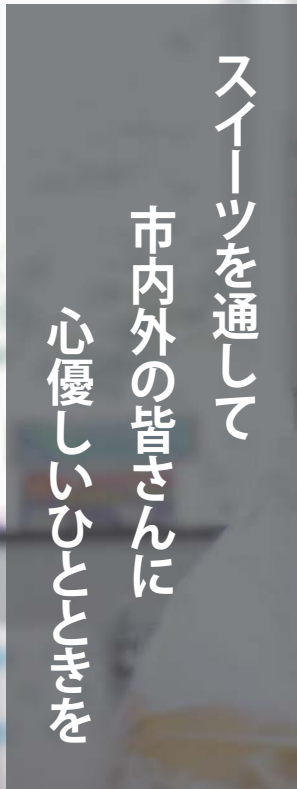


「チャレンジの先にあるもの」

平戸のまちを元気に―

平戸瀬戸市場では、店舗で鮮魚を購入したお客さんに、切り身にして提供するサービスを行っています。平成27年度からは、ふるさと納税で注文があった鮮魚についても、同様のサービスを始めました。

この日も、全国の寄附者から注文があった特産品の準備で大忙しで、近くの箱には、とり分けられた鮮魚が並べられていました。今、まちの事業者は新たなサービスや特産品などでまちを元気にしようと、さまざまな取り組みを行っています。



スイーツを通して
市内外の皆さんに
心優しいひとときを



主婦の挑戦



心優スイーツ
おちか 小値賀 布美華さん
(津吉町)

創業支援事業のメニューで創業セミナーや個別相談会などを活用し、津吉町にお菓子店「心優(ことゆ)スイーツ」を平成28年3月末にオープンしました。開店当日は、用意していたスイーツが30分で完売になるほどの人気でした。また、店内にはカフェスペースもあり、地域の人たちの憩いの場としても、大変喜ばれています。

家族の理解もあり、順調に

やるからには堅実に

これからは、当初から計画
していた市外への販売に向け

また、親になり故郷のすば
らしさを子どもたちに残して
いくため、自分にできることを
やろうと決意しました。少子
高齢化が進む現状を肌で感じ、
実際に新聞などでデータを目
の当たりにした時に、その思
いはさらに強くなりました。

スイーツを市外の
人たちに

一緒に情報発信していきた
いと思っています。

ある人から「平戸は日本の
ガラパゴス」と言われたこと
がありました。確かに、平戸
には素晴らしいものや魅力あ
る人がたくさんいますが、そ
れを全国の皆さんはあまりよ
く知りません。そんな平戸の
魅力を、スイーツを通して、
伝えていき、その人たちが平
戸に興味をもって来てもらえ
るよう平戸の魅力をスイーッ
と一緒に情報発信していきた
いと思っています。

で、ネット通販の準備を進め
ていきます。



ネット通販に向けて、パッケージ
のデザインにもこだわり、プロの
デザイナーに依頼するなど「おしゃ
れな物への関心が高い人」への情
報発信にも力をいれていきます。

みんなが喜ぶ顔が
見たくて

昔から趣味でスイーツ作り
をしていて知り合いにおすそ
分けしていたのですが、食べ
た人から「とてもおいしかった
から、また作ってよ」と要望
され、「自分でもスイーツで、
心優しいひとときを与えるこ
とができる」と思い本格的に
やつてみようと思いました。

準備を進めていくことができ
ました。準備をすすめる中で、
市の広報紙で創業支援事業の
記事を見て、今後、より堅実
に事業運営ができるようにと
思い、補助金やセミナーなど
も活用しました。

SNSやブログを活用して、
市外の人の顧客獲得のため情
報発信に重点をおき、オープ
ン以前から情報発信に取り組
んでいたことで、オープン後
は、市外だけでなく、プログ
などを見た地元のお客さんも
来店され、連日にぎわってい
ます。健康志向にもこだわっ
て、平戸産の食材を中心に使っ
てます。

移住者の挑戦



自分が惚れた平戸
都会にない魅力を
来た人に伝える



ヒラドゲストハウスコトノハ
いしくろ まさとし
石黒 雅俊さん
(崎方町)

移住定住環境整備事業
のメニューの1つである、
お試し住宅「平戸暮らし
体験家屋」を利用して、
平成28年3月に愛知県
から平戸市へ移住してき
ました。
現在、大工の経験を生
かして崎方町にある空き
店舗を自分でリフォーム
して、ゲストハウス「ヒラ
ドゲストハウスコトノハ」
を9月にオープンするた
めに、奮闘中だそうです。

平戸については、知り合い
から常々いいところという話
を聞いていました。もともと
旅がライフワークで、西の端
という立地にも興味があり、
平成27年2月にその知り合い
と「あら鍋」を食べに平戸に
来たことがきっかけでした。そ
の時に食べた平戸の食に魅了
されて、その後、愛知に帰っ
たのですが、平戸で食べた物
が忘れられず、2カ月後には
平戸に移住をしようと決断し
ました。

平戸で暮らし

平戸に移住して、たくさん
のコトやヒトとの体験や交流
ができました。同世代の若者
と一緒にイベントをしたり、
以前から大工をやっていたの

で、いろんなところから注文
がきたりと、田舎だけど充実
した毎日を送っています。自
分の性格がマイペースなので、
平戸の環境があっているのか
もしれないですね。
ゲストハウスオープン後は、
自分が興味があるタイニーハ
ウス(小さな家)の建設にも取
り組みたいと思っています。

ゲストハウスで
平戸の魅力を伝える

ふるさと納税のおかげで、
平戸暮らし体験家屋を利用さ
せてもらい、平戸に移住する
前に十分な準備ができました。
おかげで、移住後の手続きや
地元の人たちとの交流もス
ムーズに進めることができ、
今では知り合いも増え、改め
て平戸の良さを認識すること
ができました。



タイニーハウス(小さな家)とは、小さな空間
で、自分が生活するために必要な物だけを準
備することで、無駄な物や時間を省いて、自由
に使えるお金や時間をもつことができるという
考えで、近年欧米などでは人気となっています。

これからは、微力ながら惚
れた平戸の魅力を地元の皆さ
んと一緒に、発信していきた
いと思っています。平戸では
当たり前と思っていることが
私にはすごく魅力的に感じる
ことがたくさんあります。平
戸の魅力はその土地に来てみ
ないとわからないと思います。
ゲストハウスが完成したら、
地元の皆さんもお越しくださ
い。平戸の魅力をみんなで語
り合いましょう。

平戸の海の幸（タコ）を
おいしく消費者に
漁師が加工・販売！



漁師の挑戦

事業者の挑戦



平戸にしかない特産品を
開発して全国に誇れる
平戸ブランドへ



めぐみ屋

たなか きよみ
田中 清美さん
(小田町)

家業が、タコツボ漁を主に営んでおり、平戸で水揚げされたタコは、佐世保魚市場へ「メグミダコ」として出荷されています。

しかし、魚市場へ出荷できないタコもあり、それを活用して加工品などを開発し販売しました。平成27、28年平戸市ふるさと納税カタログパンフレットの中で「ご多幸^{たこ}うセット」などを掲載しています。

漁師は、昔は漁獲量がたくさんあり魚価も高かったので、漁だけをしていても生活はできていました。しかし、今は漁獲量の減少や魚価の低迷などで漁だけでは生活も少しずつ厳しくなってきました。このままだと自分たちだけでなく、平戸の漁師も活気がなくなってしまうのではと思いついて、盛り上げていきたいと考えていました。

もともと、何かやりたいなという気持ちはありましたので、まずは自分でできることから始めようと思い、魚市場に出せないタコなどを加工・販売しておいしく消費者に食べてもらえるようになれば、漁師の収入を少しでも増やしていけると思い「めぐみ屋」を開業しました。

平戸の漁師を元気に

平戸初の6次産業化

めぐみ屋で加工品から販売までを始めたことで、家業の幅も広がり収入も増え、機械なども揃えることができ、作業効率も上がりました。また、生産から販売までを一手に行つたことで、平戸の海産物では初となる「6次化認定商品」を取得できました。

おかげで、普段は1人で作業をしています。注文が増えて忙しくなつてくると長男夫婦も手伝ってくれるようになり、家族の関係も良好になりました。

漁師と消費者を結ぶ

ふるさと納税や6次産業化のおかげで、平戸のタコの人気もあがり、漁師の収入も少しずつ増えてきました。

これからは、タコを使った別の新商品なども開発して、「平戸のタコ」をもっと全国にPRしていきたいと思っています。催事やイベントにも今まではあまり参加することはありましたが、これからは積極的に参加して、いろいろな消費者からの意見を取り入れていきたいと思っています。そして、その意見をこれからの販売や加工にも生かしていきたいと思っています。



平戸の海産物で初となる「6次化認定商品」獲れたてのタコを丁寧に手もみし、茹でることでタコ本来の味が際立つ。燻製にしてオリーブオイルや醤油などで味づけした商品は、大人の味に仕上がって大人気です。

新商品開発のきっかけは、平戸市ふるさと納税の返礼品のカタログギフトに参入したことでした。参入後は、市場調査や情報収集で寄附者が何を求めているかや、平戸の強みとして何が最も人気があるのかなどを分析しました。その中で、うちわえびが最も人気があるということに着目しました。

うちわえびは、一般に活魚としては流通していません。しかし、それ以外で用途がなく、売り物にならないため、加工品などでも活用できないかと考えました。地元漁師と話し合いを重ね、うちわえびを加工して出汁に使ったラーメンを新たな商品として開発しました。観光客や帰省客にも、平戸のお土産品として、うち

平戸の強みを発掘

わえびラーメンを購入してもらえよう、パッケージにもこだわりました。また、観光客や地元の人たちに、うちわえびなどを気軽に食べてもらえるような場所も必要と思い、観光客などの通りが多い場所に店舗も開店しました。



平戸うちわえびラーメン

ブランド価値を高める

ふるさと納税のおかげで、平戸の新たな特産品などを開発することができました。また、平戸の特産品をたくさんの人に提供できる店舗も整備することができました。テラ



空き店舗等活用促進事業を活用して、平成28年3月、浦の町に「平戸海老」をオープン。今後は、土用丑の日に向けて、国産うなぎに平戸秘伝のたれを使った蒲焼きなどを販売予定です。

ス席もあり、バーベキューなども楽しめますので、ぜひご利用ください。（予約制）

これからは、ご当地ブランドとして、特産品をPRしたり、新たな商品開発などにも取り組んでいきたいと思っています。また、市民の皆さんや平戸にきた皆さんに、平戸の食を十分に堪能できるように、店舗での提供メニューを増やしていきたいと思っていますので、平戸にお越しの際には、お立ち寄りください。



(有)松永水産

まつなが かずお
松永 和生さん
(野子町)

「おうごんふぐ」・「おうごんひらめ」・「おうごんうなぎ」など、商標登録を行い、養殖魚の生産に取り組んでいます。特に、「おうごんうなぎ」については、全国的にも珍しい海水を使った養殖を行っています。平成28年度版平戸市ふるさと納税カタログパンフレットの中で「おうごん^{たこ}とらふぐ」・「おうごんうなぎ（期間限定）」などを掲載しています。

平成28年度 ふるさと納税の使い道

取り組みや思いを寄附者に

これからは、寄附者の皆さんが応援したくなる自治体を目指してふるさと納税の使い道をPRしていきます。

返礼品よりも、寄附して良かったと思われる活用方法を市民と一緒にって取り組みながら、平戸を活性化していきます。

輝く人づくりプロジェクト 84,242千円

「まちづくりの基本は人づくり」とあるという認識のもと、各種活動などを通して、地域のリーダーとなる人材やさまざまな分野における人材の確保と育成を図り、市民がともに支えあい温かみのあるまちの実現を目指します。

宝を磨き活かすプロジェクト 107,557千円

本市の個性ある民俗・伝統文化・芸能・祭り、歴史資産や豊かな自然、都市景観、農林水産品などの豊富な地域資源を、地域の「宝」へ磨きあげ、観光や産業振興に活かすことにより、地域の活性化や交流人口の拡大を目指します。

ずっと住みたいまち創出プロジェクト 357,782千円

平戸市総合戦略の「雇用の促進」「産業の振興」「子育て支援」「定住・移住の促進」を基本目標に、地場産業の振興や企業誘致、新たな雇用の創出を図るとともに、子育て支援の充実による若年層の人口流出の抑制やU・Iターンの促進を図り、市民が地域に「ずっと住みたい」と思えるまちの創出を目指します。



全国の寄附者へ送る

平戸のお礼の品には

まちの思いも詰めています

まちの活気を更なる飛躍へ

～平戸市の挑戦～



◆平戸新鮮市場では、この日約1,500箱の返礼品の梱包をしていました。「この品が届いたら、少しでも平戸のことを気に入ってもらえたら」と一つ一つ丁寧に並べ方や向きなどを確認しながら作業していました。その言葉には、平戸を良くしていきたいという思いが感じられました。ふるさと納税の返礼品だけではなく、その返礼品に込めた平戸の思いを、生産者も事業者も一緒になって寄附者にお届けしています。

あきらめるより、「自分が今しかできない。今やるべき時」というチャレンジしていく気持ちが必要ではないかと思っています。

今回、取材した4人も、いろいろな業種において、まずは自分のおかれている状況を理解し、そこから自分にできる新しいことにチャレンジし、未来の平戸を少しでも良くしていきたいという気持ちを共通して持っていました。平戸市も、これからこのようなチャレンジ精神をもった人たちが、その思いをかたちにすることができるよう、一緒になって取り組んでいきます。

平戸の明るい未来を信じて。

官民一体となって展開

市では、これからふるさと納税による返礼品での流通よりも、一般市場における特産品の流通を拡大したいと考え、9月に市公認の通販サイト（仮称）ひらどマルシェの開設を予定しています。

返礼品のノウハウを活かして、一般市場に参入し、個々の力だけではなく、官民一体となって平戸市の総力をあげた「オール平戸」の取り組みを展開していきます。

最後に

2014年に開催された、日本創成会議の中で、2040年に地方が消滅（破綻）する可能性があるとして、全国の市区町村が公表されましたが、その中に平戸市も含まれていました。このままだと、平戸は衰退して消滅するという推測が示されました。

日本の人口は、少子高齢化により減少傾向にありますが、それに加えて若者の都市部への流出により、地方の人口減少は、より加速していきます。平戸市も同様です。

この現状を打開するためには、まずは自分のおかれている状況を把握し、将来の平戸のために何がやれるのだろうか、「誰かがやるだろうか」から自分には関係ない。自分には無理」と

6/12 Hirado City Photo News
平戸の将来を考えて



平戸文化センターで第11回平戸市「少年の主張」大会が開催されました。

市内の小中学校の代表26人が自分の思いを堂々と発表し、将来の夢や、日々の生活のなかで感じたことを自分のことばで伝えてくれました。小学生の部では、「未来の平戸市」をテーマに身近なことから平戸市全体のことまで、これからのまちづくりに参考になるような素晴らしい発表ばかりでした。

【最優秀賞】「小学生の部」北村由依菜さん（平戸小6年）「中学生の部」石田悠華さん（中野中3年）

【特別賞】橋村優花さん（南部中3年）

6/11 Hirado City Photo News
カヤックでの水難事故を防ごう



千里ヶ浜海水浴場で「カヤックアングラー（釣り師）のための水難事故防止講習会」が開催されました。

昨年から行われているこの講習会は、夏のレジャーシーズンを前に、カヤックで釣りをしている際の水難事故を未然に防止する目的で行われ、クラス別に別れて、シーカヤックの専門家による陸上や会場での講習が行われました。その後、試乗会も行われ、平戸カヤックスがコーディネートし開発した「ヒラドシェイカー」などに試乗し、参加者した約40人の皆さんは、思い思いに楽しんでいました。

6/1 Hirado City Photo News
日本の文化を初体験



5月31日から6月2日まで、国際親善交流で日本を訪れている米国コロラド州デンバー市ベアークリークの高校生29人を根獅子集落機能再編協議会（濱崎保久代表）が受け入れました。

この日は、午前中は重要文化的景観である根獅子の棚田での田植え体験や、かのう交流館広場に移り、かまどでのご飯炊きやにぎり飯づくり、もちつき体験を行ないました。午後からは、根獅子の浜でカヌーや水泳体験を行うなど、はじめて日本の文化を体験し、悪戦苦闘しながらも目を輝かせながら楽しんでいました。

5/29 Hirado City Photo News
偉人をしのんで



「第22回按針忌」が執り行われました。当日はあいにくの雨で会場を未来創造館に移し開催されました。三浦按針ことウィリアム・アダムス（英国人）の命日を按針忌とし、平成7年から毎年執り行なっています。

按針は、徳川家康の外交顧問として、砲術、天文学、造船術、航海術などを日本に伝えました。また、日本初のオランダ商館やイギリス商館の平戸設置に尽力し、海外との交易の礎を築いたことは、彼の多大な功績であり、その功績をたたえ、関係者約70人が参列し献花を行いました。

6/20 Hirado City Photo News
豆力士が白熱の取組



生月町相撲道場（生月町中央公民館横）で「住吉・白山神社奉納大相撲」（壱部浦青年会主催）が開催されました。

この奉納相撲は、100年以上の伝統があり、商売繁盛・大漁満足・五穀豊穡・海上安全・無病息災および祈願成就を目的として毎年行われています。幼稚園・保育園児の花相撲、幼児土俵入りのほか、小中学生までの花相撲、一般の力士による職場対抗戦や地区対抗戦が行われました。大勢の見物人で埋め尽くされた会場では、白熱した取組に皆さん大きな声援を送っていました。

6/13 Hirado City Photo News
平戸産のお酒を外国人にも



福田酒造（株）で作られた新酒「福田純米吟醸」が、IWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）2016SAKE部門の「純米吟醸酒」の区分で、総出品数1,282点の中からブロンズ賞を受賞しました。一昨年と昨年は「福鶴長崎美人」もブロンズ賞を受賞しており、今回で3回目の受賞となります。また「福鶴長崎美人」は、平成27酒造年度全国新酒鑑評会で、出品数854点の中から、特に優秀と認められる入賞酒となりました。「今後は、オール平戸産の材料を使って、新酒も開発し、地元にも貢献していきたい」と話していました。

6/3 Hirado City Photo News
北農生がダンチクの有効活用



紺や亭で「ダンチク牛」を使ったランチレストランが、2日間限定でオープンしました。

県立北松農業高校の動物科学部の生徒たちが、出産からダンチクの刈り取り、発酵させた餌づくり、肥育まで一貫して行い、出荷された「ダンチク牛」を紺や亭のオーナーシェフが、部位ごとに美味しく仕上げた絶品メニューを完成させました。当日は、生徒たちが、研究成果の発表を兼ねて、準備から後片づけまで行いました。

お客さんは「あっさりしているけど旨味が凝縮されていておいしいね」と笑顔で話しました。

6/2 Hirado City Photo News
いっぱい卵がつきますように



大佐志町の古田漁港で、南部中学校1年生の生徒26人が参加し「イカ柴体験」（県北地区漁業士会主催）が開催されました。

まず、指導漁業士の山川富士夫さんからイカ柴の大切さなどについて説明を受け、実際に自分たちでロープと柴（クロキ）の束を使ってイカ柴を作り、沖合いで海底に沈めるまでの一連の作業を体験しました。また、最後には、山川漁業士が事前に仕掛けていた柴の枝にたくさんのイカの卵が産み付けられているのを見て、生徒たちは驚きながらも興味津々の様子でした。

仕事・サービスの内容紹介

ワンコインまごころサービス

高齢者・障がい者のちょっとした困りごと（30分程度の業務）を100円で解決するのが「ワンコインまごころサービス」です。業務内容の一部を紹介します。

- ◎新聞出し ◎電球の取り替え
- ◎植木の水やり ◎布団干し
- ◎冷蔵庫の整理 ◎雨戸閉め
- ◎買い物 ◎ごみ出し など



ふるさとサービス

空き家、墓地、遊休空き地などは、放っておくと想像以上に荒れてしまいます。所有されている空き家などが気になっている人、距離が遠すぎて自分で管理できない人に代わって管理を行います。

主な仕事の内容は…

- ◎空き家の見回り ◎庭のお手入れ
- ◎雑草刈り ◎墓地清掃
- ◎その他の管理



生涯現役で楽しく仕事を!

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。平戸市シルバー人材センターには、さまざまな分野で職業経験豊かな高齢者が登録しており、現在263人が活動しています。

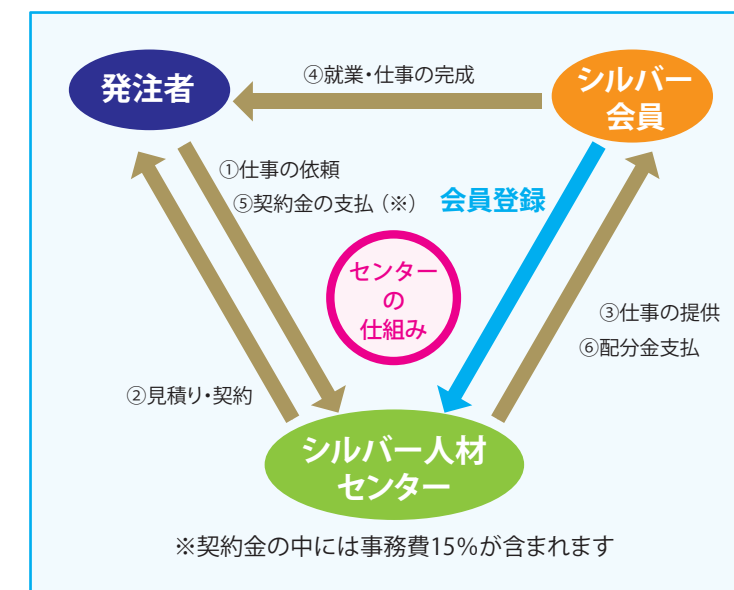
ここでは、シルバー人材センターの取り組みを紹介します。

■お問い合わせ 福祉課高齢者支援班 ☎内線2581
(公社) 平戸市シルバー人材センター ☎Tel.22-3100

シルバー人材センターの4つの理念

- 「自主」=自分のものとして 「自立」=自分たちの力で育てる
- 「共働」=一緒になって働く 「共助」=互いに助け合う

シルバー人材センターの仕事のしくみ



登録した会員は、平戸地区（北部・中部・南部・度島）、生月地区、田平地区、大島地区の16の地域班のいずれかに所属して活動しています。

原則として、発注者の近隣にいる登録会員に就業してもらうようにしています。

仕事は、公民館などの施設管理、草刈り、お墓掃除、農作業、ふすま・障子の張り替え、植木の刈り込み、賞状や宛名書きなどを行っています。



高齢者ホームヘルプサービス

在宅のひとり暮らし高齢者などで、日常生活を営むのに支障がある人に対し、軽易な日常生活上の援助を行います。利用できる人は、介護保険法に定める要介護・要支援者を除く満65歳以上で単身世帯または高齢者のみの世帯であって、二次予防対象者と市が判断した人が対象です。

主な仕事の内容は…

- ◎居住の清掃、買い物など

※サービスは週1回を限度とし、1回の利用が1時間以内（利用料150円）

その他のサービス

上記以外にも幅広く請け負っています。

- 【一般作業】 ◎公民館などの施設の管理
- ◎草刈り ◎墓地清掃 ◎農作業
- 【技能分野】 ◎ふすま、障子の張替え
- ◎植木の刈り込み ◎塗装
- 【事務分野】 ◎賞状や宛名書き など



植木の刈り込み作業



ふすまの張替え作業

会員を募集しています

平戸市内に在住で、原則60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者なら誰でも入会できます。

入会説明会を毎月第3火曜日の午後1時30分から平戸市シルバー人材センターにおいて開催していますので、参加希望者は平戸市シルバー人材センター事務局（Tel.22-3100）までご連絡ください。



空き家等の適性管理に関する協定



平戸市でも空き家が増加し、これらが十分に手入れされないまま放置されている空き家もあり、周辺的生活環境の悪化や、倒壊・物の落下による事故も懸念されます。そこで6月に平戸市と（公社）平戸市シルバー人材センターは、相互に連携・協力しながら、市内にある空き家などを適正に管理する協定を結びました。

これにより、平戸市が空き家等の所有者などから管理の相談を受けた場合はシルバー人材センターへ業務の紹介が出来るようになりました。



としょかん みんなの図書館

このほかにもたくさんの
新着図書があります!!



『たなばたバス』
作・絵／藤本 ともひこ
出版社／鈴木出版
出版年／2015.4月

平 永

一年に一度、織姫と彦星が
出会う七夕。ところが天気予
報は大雨。雨雲をやっつける
ために、おしゃべりするバスくん
とねずみたちは空へ出発しました！人
気シリーズの大型絵本版です。よみ
きかせにどうぞ。



『本物そっくり！
昆虫の立体切り紙』
著／今森 光彦
出版社／日本ヴォーグ社
出版年／2015.5月

田

虫たちが元気な夏がやってきます。
たびら昆虫自然園をはじめ、平戸は身
近にいるんな生物に出会えるところ
です。この本で、見たものそっくりの昆
虫を作ってみませんか？



『すごいぞ！オリンピック
パラリンピックの大記録』
編／講談社、出版社／講談社
出版年／2016.4月

大 平

今までの金メダルや、世界最速の記
録など、オリンピックとパラリンピ
ック全77大会の記録全てがわかる本
です。今年の大会で、新記録はでるでし
ょうか？記録の裏側のドラマも感動
です。



『おりがみ No.491 (2016.7月号)
特集たなばたとユニット』
出版社／日本折紙協会
出版年／2016.7月

永

季節や行事に合った折り紙の折り
方を紹介する月刊誌の7月号の特
集は「たなばた」。幼稚園・保育園の壁
紙飾りにも最適です。世界でも親し
まれる「ORIGAMI」は、四季折々の暮
らしを彩り、子どもから大人までゆ
とりある豊かな気持ちを育みます。



『haru_mi vol.40 (2016夏)
スコーン&マフィン そうめん&うどん』
著／栗原はるみ
出版社／扶桑社
出版年／2016.6月

南

すてきな暮らし方や、さわやかな
人柄で幅広い年代の女性の支持を集
める料理研究家・栗原はるみ。季節
ごとに出版される雑誌には、おしゃ
れな料理やインテリア、ファッション
、雑貨など、毎日の普通の生活を
いきいきと暮らすヒントが満載です。



『たまちゃんのおつかい便』
著／森沢明夫
出版社／実業之日本社
出版年／2016.6月

生

田舎町の買い物弱者を救うため
、「おつかい便」を始めた珠美。継母と
の確執や仕事の悩みを乗り越え成長
していく姿に、心があたたかくなり
ます。吉永小百合主演「ふしぎな岬の
物語」や有村架純主演映画「夏美のホ
タル」の原作者の最新作です。

※ 平：平戸図書館 永：永田記念図書館 南：南部公民館図書室 生：生月支所図書室 田：田平町中央公民館図書室 大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館 ☎22 - 4017

●7月の主なもよおし●

■おはなし会／毎週日曜日 午後2時～ おはなしのへや
■赤ちゃんおはなし会／13日 午前10時30分～
おはなしのへや

■上映会「みんなdeシネマ」／『紙屋悦子の青春』(邦画・
111分) 第31回報知映画賞特別賞ほか受賞

9日 21日 午後2時～ 未来創造館ホール

■ライブラリーコンサート／30日 午後7時～平戸図書館
今月は浅野寿子氏による津軽三味線と尺八のコンサート
です。和楽器の調べを聴いてみませんか？

■南部公民館図書室 ☎27 - 0047
■生月支所図書室 ☎53 - 2111
■田平町中央公民館図書室 ☎57 - 0207
■大島村公民館図書室 ☎55 - 2985

永田記念図書館 ☎28 - 0128

◎休館日／5日 12日 19日 26日 31日

●7月の主なもよおし●

■おはなし会／毎週土曜日 午後2時～
市ふれあいセンター児童室

■図書館ホームページ■

インターネットを使って図書館の情報をることができます。

◎パソコンから
URL <http://www.hirado-lib.jp>

◎携帯電話から
携帯電話のバーコードリーダーで右のQR
コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



7月のイベント

7月に入り、いよいよ夏本番!

平戸市では、7月から8月にかけて魅力いっぱいの楽しいイベントが盛りだくさん。

今回は7月に開催されるイベントを紹介します。皆さん今年の夏を楽しみましょう!

第29回がわっぱまつり

7月9日(土) 8:30～12:00

会場 田平町平川橋周辺ほか

田平町の商店街を「ハーリヤーエ」と掛け声を掛けながらパ
レードを行い、供養塔で水難事故の防止を祈願します。



川内かまぼこフェスタ

7月13日(水) 17:00～

会場 鄭成功記念館前・川内町浦旧通り一帯

川内かまぼこの販売や、平戸の食材を生かした屋台が鄭成
功記念館一帯に連なります。また、ステージイベントもあります。



鄭成功まつり

7月13日(水)、14日(木)

前夜祭 13日 18:30～
誕生祭 14日 10:00～

会場 鄭成功記念館前

日本・中国・台湾の英雄「鄭成功」の遺徳をしのび、顕彰す
ることを目的に「鄭成功生誕祭」を開催します。



館浦競漕船大会

7月17日(日) 9:00～

会場 生月町館浦宮の下広場・港内一帯

古来からある和船を使った競漕大会。体験乗船会のほか、
魚のつかみどり大会や海のターザンなどもあります。



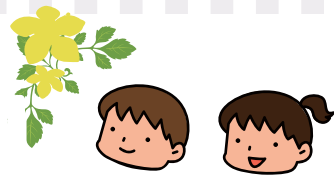
ファミリーフィッシング平戸

7月30日(土)・31日(日)

会場 宮の浦港、西浜港、潮の浦港周辺

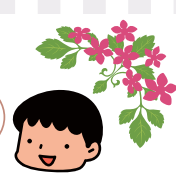
平戸の自然にふれながら、家族で気軽に釣りを楽しみませ
んか。思わぬ大物をゲットできるかも。





Happy Birthday

VOL.50



かわくち なつき
川口 夏輝ちゃん 2歳
田平町

2歳のお誕生日おめでとう。
笑顔で元気に育ってね(^o^)

from 栄紀さん 鮎弥さん



かわくち いずみ
川口 伊純ちゃん 4歳
生月町

4歳、おめでとう♥毎日パワフルな
イーちゃん。幼稚園、頑張っている
ね！

from 将司さん 有美さん



ももえだ はな
百枝 花ちゃん 1歳
岩の上町

1歳のお誕生日おめでとう♥和香ねえ
ねと仲良し姉妹で育ってほしいな♥

from 智子さん



はた かいせい
海辰くん 4歳
岩の上町



しばやま はつき
紫山 蓮月くん 2歳
野子町



つかもと ぞう
塚本 奏空くん 4歳
紐差町



もりした あおい
森下 葵彩ちゃん 2歳
岩の上町



ほうき みわ
宝亀 実和ちゃん 3歳
川内町



おくむら のぞむ
奥村 望くん 1歳
田平町

7月生まれの皆さんお誕生日おめでとうございます。にっこり笑顔の花がたくさん咲きました！ 編集室より

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しいなど、掲載を希望する団体は広報ひらど編集室までご連絡ください。

8月
生まれ
募集中

Happy Birthday 投稿募集！

発行月に誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。投稿締切は7月15日
おめでとうメッセージ付きの掲載は先着3人まで。発行月前の15日までにお送りください。

投稿方法 写真、お子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、性別、投稿者氏名、住所、電話番号、メッセージを添えて、郵便またはEメールでお送りください。

あて先 〒859-5192 広報ひらどHappy Birthdayコーナー
Eメール kouhou@city.hirado.lg.jp



▲こちらのQRコードからも投稿できます。

「ママへ。
早めに出してね」



健康・福祉いきいき通信

health and welfare information

認知症の人を介護する家族を地域で支えましょう

認知症は、高齢者の増加とともに増え続けていて、85歳以上では4人に1人が認知症の症状があるといわれています。認知症になり症状が深刻化、長期化していくと、いくら公的サービスを活用したとしても、家族の介護の負担は大きく、在宅での生活を断念し、施設に余儀なく入所するケースが多々あります。認知症の人を介護する家族を地域で支え、認知症の人がいつまでも在宅で自分らしく生活できるようにしましょう。

■お問い合わせ 福祉課高齢者支援班 ☎内線2586

健康・福祉
いきいき通信

health and welfare information

vol.72



認知症のサインに気づく

認知症のサイン

- 同じことを何度も言ったり聞いたりする
- 置き忘れ・紛失が多くなった
- 着替えや入浴を面倒くさがるようになる
- 調理などこれまで出来ていたことができなくなる
- ささいなことで怒りっぽくなる

※認知症のサインに気づいたら、かかりつけ医、または精神科、神経内科など行っている専門医に相談しましょう。

認知症の人への接し方

認知症によっていろいろなことがわからなくなっているようでも、その人らしさや感情はなくなっているわけではありません。

ポイント①

理解できない行動でも本人なりの理由があります。怒ったりせず、本人の気持ちを一度受け入れましょう。

ポイント②

焦らせたり急がせたりせず本人のペースにあわせましょう。

ポイント③

認知症の人が安心できるよう多少困った行動をとっても笑顔で接しましょう。

地域でできること

- 介護者にねぎらいの言葉をかける
- 介護者を孤立させない
- 話を聴いてあげる
- ※アドバイスはしないほうがいい場合あり
- できることは協力する
- 認知症の相談窓口「地域包括支援センター」や「認知症の人と家族のつどい」を紹介する



「認知症の人と家族のつどい」毎月開催中

認知症の人や家族が集まって情報交換したり、勉強会を行う集いの場を毎月第1木曜日に開催しています。毎回認知症の人と家族の会長崎県支部のアドバイザーが参加し、認知症の人への具体的な対応をアドバイスしてくれます。

とき 毎月第1木曜日 午後1時30分～午後3時
ところ 未来創造館 COLAS平戸

内容 交流会、勉強会、施設見学など





募 集

INVITATION

「脳ドック・人間ドック」の追加募集をします

平戸市国民健康保険では、医療機関での脳ドック・人間ドックを実施し、その検査料金の一部を助成します。

〒57-0977

○募集期間 7月1日(金)～29日(金)

○募集方法 保健センター、市民課国保年金班、各支所・各出張所へ国民健康保険被保険者証をご持参の上、お申し込みください。なお、募集定員を超えた場合は、抽せんとなります。

※医療機関や、検査内容などの詳細は「広報ひらど4月号22ページ」に掲載していますので、ご確認ください。

図書館を使った調べる学習コンクールを開催します

〒22-4017

図書館の利用促進と調べる学習の推進を目的とした「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施します。日ごろ疑問に思っていることを、図書館を使って調べてみませんか。詳しくは図書館にお問い合わせください。

○募集対象 平戸市在住者(小学生以上)
○募集作品とテーマ 公共図書館・学校図書館を使って調べ、まとめた作品で、

テーマは自由です。

○応募数 一人一作品(未発表作品限定)

○募集期間 9月1日(木)～30日(金)

○審査 上位作品のうち2作品程度全国審査会へ推薦します。

図書館を使った調べる学習おたすけ講座の参加者を募集します

〒22-4017

図書館を使った調べる学習コンクール開催にあたり、百科事典の使い方や調べ方・まとめ方の小学生向け講座を開催します。(大人同伴可)

○とき・ところ

▼7月27日(水)午後1時～ 永田記念図書館
▼7月30日(土)午前10時30分～ 平戸図書館

○講師 図書館職員

○募集人数 各日30人程度(先着順)

○募集締め切り日 7月15日(金)

公営住宅の入居者を募集します

〒2285

入居を希望する人は、申込書に添付書類を添えて、まちづくり課、または各支所地域振興課にお申し込みください。

○募集戸数

①平戸地区 1戸
②生月地区 20戸
③田平地区 6戸

※平成28年熊本地震に伴う被災者受け入れのため、募集戸数に変更が生じる可能性がありますので、その際はご了承ください。

○申込期限 7月11日(月)

※郵送でも受け付けます。(必着)

○申込資格 原則として、次のすべての要件を満たしていることが必要です。

- ①収入が公営住宅法施行令に定められた基準内であること
- ②住宅に困っていること
- ③地方税などの滞納がないこと
- ④暴力団員でないこと(同居人を含む)
- ⑤特定公共賃貸住宅については、同居または同居しようとする親族があること

※単身で入居する人は、2K以下の住宅に住むこととなります。(高齢者、障がい者などを除く)

○添付書類

- ①世帯全員の所得証明書(平成27年分)
- ②納税証明書
- ③住民票謄本

○選考方法 募集戸数を超えた住宅については、抽選により選考します。

※なお、抽選会は、たばら活性化施設研修室で7月30日(土)に開催予定です。

※抽選会の開催については、該当者に後日通知します。

【注意】 入居決定後に入居を辞退することがないよう、事前に十分検討したうえでお申し込みください。

募 集

INVITATION

平戸市総合計画審議会委員を募集します

〒2335

現在の総合計画は、平成29年度で目標年次を迎えるため、市では次の10年間を見据えた総合計画を作る審議会を設置します。

この審議会は、総合計画に関するさまざまな意見を市に提案するものです。これからの市の発展とまちづくりのために、あなたも審議会に参加してみませんか。元気で意欲のある皆さんの応募をお待ちしています。

○応募資格

▼平戸市内に住所を有する満18歳以上(平成28年7月1日現在)の市民(高校生を除く)

▼国・県・市議会議員および平戸市職員でない人

○募集人員 3人

○募集期間 7月1日(金)～22日(金)(必着)

○募集方法 所定の用紙に住所・氏名など必要事項を記入し「応募の動機」を添えて封書で応募をお願いします。所定の用紙は、本庁企画財政課、各支所地域振興課および各出張所に準備しています。また、市のホームページからダウンロードできます。

お知らせ

INFORMATION

平成28年度国民年金保険料の免除・納付猶予申請の受付が始まります

〒2592

国民年金には、所得が少なく国民年金保険料を納めることが困難な場合に、申請により保険料の納付が免除または猶予される制度があります。

平成28年度分(平成28年7月～平成29年6月までの期間)の免除・納付猶予申請を7月1日(金)から受け付けますので、希望する人は次の手続きをしてください。

○必要な書類など 年金手帳、印かん、免許証などの身分証明書

※退職者(失業者)は「雇用保険受給資格者証」や「雇用保険被保険者離職

票」など、退職(失業)したことが確認できる書類を持参してください。

※学生は、学生証の写しまたは在学証明書(原本(申請年の4月以降発行分)を持参してください。

○受付窓口 市民課国保年金班(6番窓口)、または各支所地域振興課市民協働班・各出張所

○お問い合わせ先 佐世保年金事務所
TEL 0956-341189

国民年金保険料の納付猶予制度の対象年齢が変更されます

〒2592

平成28年7月1日(金)から、制度改正により、国民年金保険料の納付猶予制度の対象年齢が、30歳未満から50歳未満に変更されます。また、名称が「若年者納付猶予制度」から「納付猶予制度」に変更されます。

猶予された期間は、年金額には反映されませんが、年金を受け取るために必要な「受給資格期間」に算入され、万が一けがや病気で障がいが残ったときは、障害年金を請求することができます。

○お問い合わせ先 佐世保年金事務所
TEL 0956-341189



Topics

今年で6回目となるボランティア清掃

6月3日、松浦史料博物館周辺において、九州電力(株)平戸営業所によるボランティア清掃が行われました。この活動は、九州電力(株)の地域・社会共生活動の一環として行われ、快適で豊かな地域・社会の実現と、持続的な発展に向け、地域の課題解決に積極的に取り組んでいくということで実施しています。

この日も作業服の所員約20人ほどが石垣に登って、除草作業などに、汗を流していました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

Topics

西九州道路の早期全線開通に向けて

5月28日、国際観光ホテル旗松亭で「長崎県西九州自動車道建設促進期成会総会」が開催され、会長の中村知事をはじめ国議員、県議会議員ほか約110人が出席しました。

総会では、長崎河川国道事務所長から松浦佐々間は平成30年度までに用地取得を計画しているなどの事業説明がありました。また、平戸瀬戸市場の曾川孟浩代表理事から地元意見発表がありました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

17 ●館浦競漕船大会(生月町館浦漁港宮の下広場) 9:00～13:00 ●おはなし会(平戸図書館おはなしのへや)14:00～ 特が平戸文化センター 8:30～10:30 13:30～14:30	18 ●海の日	19 ●平戸起業塾(平戸商工会議所)14:00～16:00 ●永田記念図書館 休館日	20 ●個別創業相談会(未来創造館COLAS平戸会議室A) 10:00～16:00 妊母大島村離島開発総合センター 10:00～10:30 特が中野ふれあい会館 8:30～10:30 13:00～15:00	21 ●KBCラジオ平戸市福岡情報局発信!平戸んどん 13:40～3:43 ●みんなdeシネマ(上映会)(未来創造館ホール) 14:00～ 乳ふれあいセンター 13:00～13:30 特がサン・ケア平戸 8:30～10:30 13:00～15:00 特が平戸市立生月病院 13:30～14:00	22 ●ハローワークin平戸市(平戸商工会議所2階会議室)10:00～16:00 特がサン・ケア平戸 8:30～10:30 13:00～15:00	23 ●おはなし会(ふれあいセンター児童室)14:00～
24 ●おはなし会(平戸図書館おはなしのへや)14:00～ 31 ●永田記念図書館 休館日	25 胃肺山田地区活性化センター 8:00～10:30 13:00～14:00	26 年金相談は完全予約制 ●年金相談(本庁)(市役所本庁3階大会議室)10:00～12:00/13:00～15:00 ●平戸起業塾(平戸商工会議所)14:00～16:00 ●永田記念図書館 休館日 胃肺生月船員福祉会館 7:30～10:30 13:00～14:00	27 ●個別創業相談会(未来創造館COLAS平戸会議室A) 10:00～16:00 胃肺元触地区交流センター 8:00～10:30	28	29	30 ●ファミリーフィッシング平戸(～31日)(宮の浦港、西浜港、潮の浦港一帯) ●おはなし会(ふれあいセンター児童室)14:00～

各種相談	◎年金相談（完全予約制）		
	7月26日（火）10:00～12:00/13:00～15:00	本庁3階大会議室	
	◎消費生活巡回相談		
	7月6日（水）13:00～15:00	ふれあいセンター談話室	
	7月13日（水）13:00～15:00	生月支所相談室	
	7月20日（水）14:00～16:00	離島開発センター産業研修室	
今月の献血	◎ハローワークin平戸市		
	7月8日（金）10:00～16:00	平戸商工会議所2階会議室	
	7月22日（金）10:00～16:00	平戸商工会議所2階会議室	
	年金相談予約 ☎0956-34-1189 ※相談日の前日までにご予約ください 佐世保年金事務所お客様相談室 受付時間 8:30～17:00		